

JSA 神奈川支部通信

No. 5 May 2025 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP : <https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail : jsa.kanagawa(at)gmail.com

年会費 10800 円, 院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 00280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ 日本科学者会議神奈川支部第 61 回大会記念講演のお知らせ JSA 神奈川支部幹事会
- ◆ 日本学術会議の解体を意図した「日本学術会議法案」の廃案を求める声明 JSA 幹事会
- ◆ シンポジウム「アメリカ、アジア、ヨーロッパのこれから」の報告 後藤仁敏
- ◆ プラスチックによる汚染は海洋生物だけでなく温暖化を促進する？ 惣田昱夫
- ◆ 神奈川県国民運動実行委員会が国会議員要請統一行動を実施 後藤仁敏
- ◆ 読書会（4 月 5 日、『日本の科学者』4 月号）の報告 後藤仁敏

日本科学者会議神奈川支部第 61 回大会記念講演のお知らせ

JSA 神奈川支部幹事会

日本科学者会議神奈川支部では、第 61 回大会をむかえるにあたって、横浜市立大学教授の山根徹也さんのお話と、中島常安（名寄市立大学名誉教授）、鈴木秀顕（松蔭大学准教授）のコメント、そして、会場の参加者をまじえたパネルディスカッションを行います。日本の教育は幼児教育から大学まで、確立しているようにみえますが、憲法にある教育の機会均等は保障されていません。義務教育ですら、経済的な格差が学力につながるようになっていきます。かつて、教科書検定をめぐっての家永裁判がたたかわれ、横浜市では 2009 年から 2020 年までの長い期間、自由社・育鵬社の異常な中学校教科書が使用されてきました。学術会議会員の任命拒否と法改悪は、その独立を否定し、政府の思いのままに学術を支配することを狙っています。日本の教育はどうあるべきか、みなさんと考えたいと思います。参加費は無料です。資料代、会場費のカンパをお願いします。

日時：2025 年 5 月 10 日（土）13:30～15:30

会場：かながわ労働プラザ第 5 会議室（横浜市中区寿町 1-4、045-633-5413）

アクセス：JR 石川町駅中華街口（北口）徒歩 3 分、地下鉄伊勢佐木長者町駅出口 2 徒歩 12 分（地図参照）

終了後、懇親会の予定



日本の教育のあり方を考えるー学習指導要領・平和教育・地域教育ー

記念講演：「歴史教育を考えるー学習指導要領の検討を中心に」

講師：山根徹也会員（横浜市立大学教授）

高校教科書執筆に参加するなかで学習指導要領の問題点を知る機会がありました。特に問題点が目立つ小学校指導要領の社会科のうち歴史にかかわる問題点を検討し、あわせて近年の関連する政治などの動きを指摘したいと思います。

講演要旨：日本における歴史教育の問題－学習指導要領をめぐって



山根徹也（横浜市立大学国際教養学部教員・ドイツ史）

現在、戦争をすることを可能とする国づくりを急ぐ政権、政権与党は、そのための立法、施策を押し進め、憲法改正をも執拗に実現しようとしている。その中で、日本学術会議をめぐる問題などにおいて露呈しているように学問の自由もまた脅かされている。それと並行してすでに相当に以前から進められている、教育を通じて国民意識を変容させる試みがさらに深化しつつある。

2022 年に内閣が策定した安保 3 文書の一つ「国家安全保障戦略」も、安全保障に協力、参加するような「国民の決意」を求め、この連関を露骨に示している。安倍晋三第一次政権の時に行われた教育基本法の大規模改変は、新たに教育は「我が国と郷土を愛する」「態度を養う」ものとすることを定めており、すでにこの方向を法定するものであった。

よく知られているように、1999 年の国旗国歌法制定以前から学習指導要領によって学校現場では式典における日の丸の掲揚と「君が代」の斉唱が促されてきたが、現在では事実上義務付けられた状態になっているに等しい。学校教科書の問題群の中では、「新しい歴史教科書を作る会」などの右派、極右派の教科書が作成されたばかりではなく、政府の検定に合格し、一部自治体で採択されていることも、こうした流れに属していると言える。

さらに、政府は教科書記述にも従来から介入をくりかえしており、よく知られている 1965 年に始まった家永教科書裁判も、教科書検定を通じての政府の介入に対する原告側の闘いであった。最近では、2021 年に政府が閣議決定を経て教科書記述に公然と介入し、歴史教科書の中で、従軍慰安婦に関する記述については「従軍」と書かないように、また、朝鮮人の強制連行または強制労働については「徴用」とするよう、事実上指示し、各教科書会社は政府方針に屈せざるをえず、実際に政府決定に沿うよう変更している。

「従軍慰安婦」表現に関する記述のしかたなど細部については、学習指導要領には当然、書かれていない。しかしながら、現行の学習指導要領は、露骨に国家主義的かつ過去の戦争を美化するような指示に満ち満ちている。

一例を示せば、小学校の「社会」について現行学習指導要領（2017 年）は、天皇について「歴史に関する学習との関連も図りながら」、「理解と敬愛の念を深めるようにすること」と定めており、あからさまに子供の心のありかたを好き嫌いの次元から政治的に統制しようとしている。その歴史に関しては、例えば近代史に関する定めの中で、「大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実に国際的地位が向上したことを理解」するとしているのであるが、明治期の戦争が帝国主義的な植民地主義の始まりであったことを覆い隠して、「我が国」の「発展」のみ一面的に賛美するという、偏った愛国主義教育をめざしている。さらに、それは間接的にはかつての軍国主義を肯定する方向にあると見てよいのではないか。

こうした学習指導要領の傾向は、最近に始まったことではなく、かなり古くからあったものではあるが、2006 年の教育基本法改変によってより踏み込んだものとなるとともに、法的裏付けがより強くなっていると見られる。こうした動きの教科書、現場教育への影響は甚大であり、またきわめて深刻に有害である。

教科書検定のありかたの検討、できるだけ科学的で公正な教科書が採択されるようにするといった課題と同時に、学習指導要領の内容、ありかたも含め歴史教育、教育全体のありかたを変えていく必要があるだろう。

講師紹介：1965 年生まれ。1998 年、東京大学大学院博士課程修了、博士（学術）、1999 年より横浜

市立大学専任教員（国際教養学部教授）。著書に『パンと民衆－19世紀プロイセンにおけるモラル・エコノミー』（山川出版社）など。東京書籍（株）高校世界史A、高校歴史総合の執筆に参加。
コメント：中島常安（名寄市立大学名誉教授、社会保育学）、「幼児期の平和教育と学習指導要領」
鈴木秀顕（松蔭大学准教授 情報リテラシー論）「地域と社会実践から学校教育を考える」
パネルディスカッション 報告者および会場参加者による討論

第61回支部大会では、JSAの第56回定期大会大会議案（『日本の科学者』に同封）をうけて、その討議と、神奈川支部として、一年間の活動方針、財政（決算承認、予算案）、全国大会代議員選出、支部役員選出などが議題となっています。支部の議案は4月15日の午後から開催される支部幹事会をへて支部のホームページにアップします。ご意見がありましたら、メールなどで事務局までお寄せください。大会当日は11:00～12:00まで、支部幹事会を行います。なお、支部大会の終了後は懇親会を予定しています。

第59回支部大会で提案した支部費の改定（月200円）は、『日本の科学者』の発送実務を幹事会で行うなどの、引き続き経費の削減に努力するとともに、昨年10月に初の試みの市民向けの研究交流会（「核兵器の科学史。科学者と市民の責任」講師：山崎正勝東京工業大学名誉教授）は、茨城、東京もふくめ20人が参加し会場費などを募金でまかなうことができました。著しい物価上昇が生活を圧迫していることから、今回の支部大会でも保留の扱いとします。

大会出欠フォームへの記入のお願い

支部大会の成立にかかわりますので、4月25日までに、QRコードまたはURLにアクセスして、出欠フォームに記入してください。やむなく欠席する場合は右のQRコードか以下のurlのフォームのコメント欄に委任先（議長・個人など）を記入してください。



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeSax2MAPYBIMZZ6sZxvzP0fzn_DgFLmVKqB72_uSUE1Mls_g/viewform

主催：日本科学者会議神奈川支部 090-1987-0994 ✉ jsa.kanagawa@gmail.com

日本学術会議の解体を意図した「日本学術会議法案」の廃案を求める声明

2025年3月15日 日本科学者会議幹事会

去る3月7日に政府は「日本学術会議法案」を閣議決定し、今国会で成立を図る方針を明らかにした。もしこの法案が成立すれば、現行の「日本学術会議法」は廃止され、学術会議は現行法の下での「国の機関」から新たに設立される「特殊法人」へと、これまでとは全く異なる組織に転換されることになる。

このような法人化は学術会議の「独立性」を確保するためとの表向きの説明とは逆に、学術会議を政府の完全な管理・統制下に置くことを目論んでいる。それは、内閣総理大臣が任命する「監事」や内閣府に設置される「評価委員会」、会員選定方針に関与する「選定助言委員会」と運営そのものに関与する「運営助言委員会」両委員会への外部委員の任用、中期活動計画作成や年度ごとの評価義務づけなどから明らかである。また同時に「法人化」に伴い、財源の多様化、外部資金獲得を求める方針も示されており、財政的締めつけが強化されると共に、学術会議に対する産業界等の財務面での影響力も増大することになる。さらに「新会議発足」時（2026年10月予定）の会員の選定にあたっては、これまでとは異なる特別な方法を取り、「多様な関係者」から推薦を求める方針も示唆されており、政府や産業界にとって都合の良い会員選定への道を開くものとなっている。日本学術会議はその根本的な変質をめざす政府主導の学術会議「改革」案に対して、2021年4月

の総会以来、一貫して「ナショナル・アカデミーが備えるべき5要件」（学術的に国を代表する機関としての性格、公的資格、安定した財政基盤、活動面での政府からの独立、会員選考の自主性・独立性）を提示した。そしてこのような要件を満たさない方向で、「有識者懇談会」等の場での検討が進められることに、重大な懸念を表明してきたが、今回の法人化法案はこうした学術会議としての問題提起をまったく無視するものである。もしこのまま法案の成立を許せば、軍事研究の推進に対しても毅然として反対姿勢を貫いてきた学術会議はその歴史的な独立性・自律性を失い、時の政府や産業界等に従属する機関に変質させられ、独立したナショナル・アカデミーとして活動することは不可能となる。それは事実上、学術会議の解体といっても過言ではない。

日本科学者会議はすでに、本年1月17日付で事務局長談話「日本学術会議の法人化に向けた法整備に反対する」を发出し、学術会議法人化法案の国会上程に反対する立場を明確にした。学術会議歴代会長6氏や広範な分野の学協会、団体、個人による反対の声明の发出や署名運動などの動きも相次いでいる。日本科学者会議は、政府がこれらの声に真摯に耳を傾け、学術会議の解体につながる学術会議法人化法案の閣議決定と国会上程をすみやかに撤回するよう強く要求すると共に、立場を同じくする団体や個人と手を携えて、国民各層に訴え、強力な反対運動を推進していく決意を表明するものである。

シンポジウム「アメリカ、アジア、ヨーロッパのこれから」の報告

後藤仁敏

神奈川1区、2区、3区、4区、6区の市民の会などが構成する戦争させない横浜市民ネットワークが、2025年4月12日、かながわ県民センターホールで、シンポジウム「アメリカ、アジア、ヨーロッパのこれから～いま世界を読み解く」を開催し、110人の市民が参加しました。櫻井みぎわさん（弁護士）の司会のもと、はじめに3人のシンポジストが講演しました。

成澤宗男さん（ジャーナリスト）は、「トランプ政権2.0における世界戦略の調整と混乱―大西洋同盟の危機」をめぐる論議を中心に」について次のように話しました。アメリカは建前は民主主義、自由を掲げたいが、本音は世界を思いどおりに動かしたい、そのために邪魔者は消すである。この点では、トランプ政権もバイデン政権も同じだ。

アメリカの公的国家戦略はロシアの強国としての復活を許さず、それによって世界一極支配のために不可欠なユーラシア大陸の制覇を軍事力で達成するとしてきた。しかし今は、中国が最大の脅威で、経済競争で負ける前に中国との戦争準備を最優先にしている。つまり、前政権は現政権と同じ中国主敵論に立ちながら、当面の打倒の対象をロシアにするか、中国にするかという優先順位だけが違うに過ぎないのだ。そのために、いま大西洋同盟＝NATIが危機に陥っている。トランプ政権の言動を米国の本質的属性と照らしながら判断する能力が求められている。

続いて、瀬戸厚さん（山口大学名誉教授）が、「厳しさを増すアジアの安全保障環境」は本当か？～脱抑止・脱同盟を求めて」について次のように話しました。日米の報道はさかんに中国の脅威を宣伝しているが、中国政府の基本姿勢は兩岸問題（台中関係）は内政問題で平和的解決を促すとしている。台湾有事は日米合作で、過剰な危機感を流すこと自体が目的だ。中国の国防の特徴は、「決して覇権を主張せず、拡大せず、勢力圏を求めない」としている。



図1 質問に答える成澤、瀬戸、山根氏

台湾では、立法院では民進党と国民党が伯仲しており、ともに中国を敵とせず、時間をかけてゆっくり手をつなぐとしている。韓国の学生は、「先生の提案する東アジア共同体には大賛成、北朝鮮は怖いですが、同じ民族なのでいつかは和解するでしょう。私は北朝鮮より怖いのは日本です」と述べている。日本では抑止力強化を口実に、大軍拡が進められている。抑止力は軍拡を促し、同盟は戦争を誘う。平和を望むなら、戦争の準備でなく平和の準備をすべきだ。

続いて、山根徹也さん（横浜市立大学教授）が「混迷するヨーロッパ」と題して、次のように話しました。イタリアでメローニ政権が成立し、フランスではルペン党首の国民連合が、オーストリアでも自由党が第一党になり、イギリスでもリフォーム UK が台頭した。ドイツでも、AfD（ドイツのためにオルタナティブ）が東部諸州に続き連邦議会でも大躍進した。これらの政党は、移民にきびしい制限を要求し、イスラーム、基本的人権の尊重、多様性、自然エネルギーに反対し、ナチズムの過去の反省に抵抗し、親トランプ、親ロシアの傾向がある。ウクライナについては侵略戦争反対だが、ガザ侵攻ではイスラエルを支援するというダブルスタンダードだ。

これに対しては、貧困と格差を拡げる新自由主義批判、再配分と人権尊重、平和を訴えることが必要だ。ドイツでは 20 万人が反極右デモに参加した。左派として、フランスでは新人民戦線、ドイツでは左翼党も健闘している。

休憩の後、櫻井さんの質問と参加者からの質問に 3 氏が答えました。成澤さんは、子どもや孫のためにも、戦争に協力しないために、日米安保と地位協定を廃棄することが必要だと訴えました。瀬瀬さんは、抑止力は軍拡以外の何物でもない。同盟は戦争のために結ばれる。今こそ脱抑止力、脱同盟を訴える。戦争に反対し、平和を守るうえで、何が求められるかを学ぶ意義深いシンポジウムでした。

プラスチックによる汚染は海洋生物だけでなく温暖化を促進する？

惣田 晃夫

ナノプラスチックによる汚染が人間の脳へ到達し、アルツハイマー病や様々な内疾患病気を促進したり引き起こしたりしていることが明らかになってきています。そのマイクロプラスチックやナノプラスチックについて整理し、プラスチックの海洋汚染について述べたいと思います。

海洋へのプラスチック汚染は 1960 年から観測されており、1970 から 1995 年代にかけて海洋生物の捕食による被害が報告されており、筆者らも海岸のレジン等のプラスチック廃棄物の調査を行ったことがあります。その後神奈川県環境科学センターではひきついで海岸のマイクロプラスチックの調査を 2017-2018 年に行い報告がなされています。

21 世紀に入り海洋中のプラスチックに関して新たな展開がありました。微細なプラスチックが海洋表面水中を漂っていること、その後さらに海岸に堆積していることがイギリスで明らかとなり、その細微細なプラスチックが多毛類等に取り込まれていることが判明しました。数百 μm 程度の大きさのため顕微鏡で見なければわからないことからマイクロプラスチックと名付けられました。2008 年に NOAA の国際ワークショップが開かれ 5mm 以下のプラスチックをマイクロプラス



図1 スギ花粉とナノプラスチックの大きさ

チックと定義しました。ナノプラスチックは1 μ mより小さな微生物よりも小さな大きさで2015年にフランスの研究グループが北大西洋の調査で確認され、北極や南極でも見つかり問題となりました。図1のようにスギ花粉よりもっと小さなものです。現在はマイクロプラスチックとナノプラスチックが比べられ論議されています。国立環境研究所の動画サイトでも掲載されています。

次に海洋汚染の現状を見ていきますが、その前に、なぜいま日本でこの問題を取り組まなくてはならないのかについて少し述べます。図2を見ていただきたいのですが、日本お陸地面積は約38万Km²、と世界では第61番目という小さな国です。よく言われますが、日本お陸地面積は狭い、山が多く平地が少ない資源も少ないと。しかしEEZでは約447万Km²となり世界で第6番目に入ります。陸地と海洋の違いはありますがかなり大きな領土を持っていることになりま。魚介類の資源は豊富です。しかしその資源が温暖化により危機に陥っています。これを何とかしなくては、との危機もあります。また汚染もひどくなっています。海洋資源は十分調査されていませんがまだ多くの可能性を持っています。そのためにも海洋汚染問題はあまり認識されていませんが海洋生物だけでなく日本の資源を守るうえでも重大だといえます。

図3の世界地図をみてください、図のように赤く染まったところがプラスチック汚染の進んでいるところ

海流等の関係で北緯30度と南緯30度のところが汚染が進んでいることがわかります。このモデルでは全汚染の推計量は5兆億個、1億5000万トンと推計されています。実際は年平均800万トンが陸地から流出し、現在の量はこのモデルより汚染はさらに進んでいると思われます。この地図で分かるように日本の排他的水域に汚染が広がっていることがわかります。日本は海洋国ですからこの状況は看過できません。次に汚染の海岸などや海洋の実態とどの様なプラスチックが漂着しているのかを見てみます。日本の海岸に打ち上げられたものを図4で示します。プラスチックが65.8%と多く、発泡スチロールが特に多い。もう少し内容を見てみましょう。神奈川県の実例です。場所によりますが、発泡スチロールが多く、ポリエチレン、ポリプロピレンが多いようです。

世界プラスチックの生産量(2022年、3億6000万トン)です。廃棄量は1億3000万トンです。代表的内訳は表1のように、1

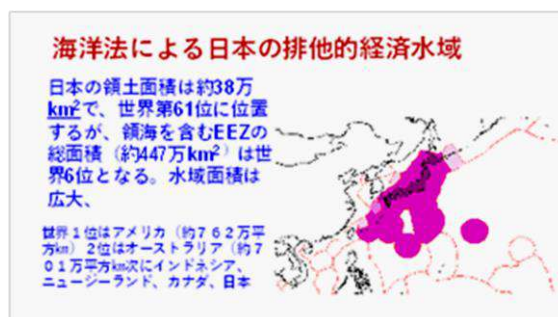


図2 海洋法による日本の排他的経済水域

打ち上げられたプラスチックごみ-海洋汚染北緯30度に多い。

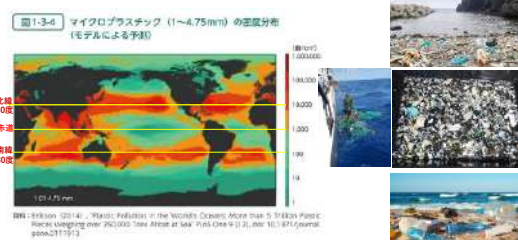


図3 世界のプラスチック汚染地図と海洋ゴミ

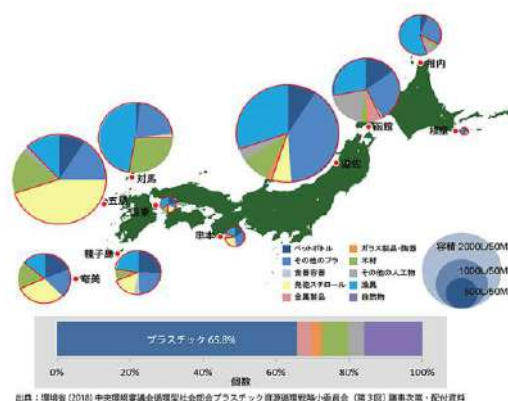


図4 日本の海岸に漂着したごみの量と内訳

表1 世界各国のプラスチック廃棄量及び1人当たりの廃棄量

順位	年間総廃棄量(2018)	一人当たり年間廃棄量
	万トン/年	kg/人/年
1 中国	2,536	シンガポール 76
2 アメリカ	1,719	オーストラリア 59
3 インド	558	オマーン 56
4 日本	471	オランダ 55
5 イギリス	289	ベルギー 55
6 ブラジル	281	イスラエル 55
7 フランス	232	香港 55
8 ロシア	230	スイス 53
9 インドネシア	226	アメリカ 53
10 韓国	225	UAE 52
11 メキシコ	218	チリ 51
12 ベトナム	190	韓国 44
13 ドイツ	182	イギリス 44
14 スペイン	159	クウェート 40
15 オーストラリア	145	ニュージーランド 39
16 イタリア	139	アイルランド 39
17 カナダ	126	フィンランド 38
18 タイ	126	日本 37
19 トルコ	123	フランス 36
20 サウジアラビア	116	スロベニア 35

位は中国（2536 万トン/年）、2 位アメリカ（1719 万トン）日本 4 位（471 万トン）、1 人当たりの廃棄量は 1 位シンガポール 76 kg/人/年）日本は 18 位（37 k g/年）となっています。このうちの数%のプラスチックが海洋に流れて海洋を汚染しています。日本近海に漂着するプラスチックの量の 5～6 割は日本製と環境省の調査で報告されています。

（次回に続く）

神奈川国民運動実行委員会が国会議員要請統一行動を実施

後藤仁敏

先月に続いて、3 月 19 日、「軍事費を削って暮らし、福祉・教育の充実を一国民大運動神奈川県実行委員会」が国会議員要請統一行動を実施し、15 団体から 93 人が、衆議院第一議員会館大会議室に集まりました。私もノースドック米軍部隊配備反対連絡会として集めた請願署名を提出するために参加しました。

建設労連の鈴木氏の主催者挨拶に続いて、日本共産党議長の志位和夫衆議院議員から国会情勢について次のように報告しました。まず 3 月 18 日のイスラエルのガザへの大規模攻撃により、数百人の子どもや女性が犠牲になった。アメリカの容認のもとに行なわれており、強く抗議したい。

国会では自公の延命戦略が破綻してきている。高額療養費を凍結に追い込んだのは大きな成果だ。密室協議では国民の要求は実現できないことがはっきりしてきた。国民民主や維新の会の責任も問われている。石破首相の商品券問題は、公邸で官房・副官房長官が同席し、政策や選挙の話をしており、完全な政治資金規正法違反だ。石破氏は首相の資格はなく、内閣総辞職すべきだ。

私たちは予算案の 2 つの歪み、軍拡と消費税について追及している。石破首相はトランプ大統領に 27 年以降も軍拡を続けると約束し、コルビー国防次官補は日本に GDP 比 3%を求めている。絶対に許すことはできない。軍拡でなく外交の力で平和をつくるべきだ。

志位氏は軍事予算の突出による予算の歪みと、消費税による税金の歪みをパネルで示して説明した（図 1）。能動的サイバー法案や学術会議法人化法案も危険で採択させてはならない。政治の根本を正すので、皆さんのお力をお貸しください、と訴えました。

質疑応答の後、志位氏にはノースドック米軍配備反対などの多くの署名が手渡されましたが、重い署名を軽々とかかえて行かれました（図 2）。

続いて、民医連、原水協、新婦人、生活と健康を守る会、建設労連、神商連の 6 団体から発言があり、運動が交流されました。次いで、住谷和典県大運動事務局長が議員要請について行動提起し、最後に年金者組合の下田氏が閉会挨拶しました。その後、各団体ごとに国会議員への要請行動を行いました。私たちノースドック反対連絡会は 2 班に分かれ、衆議院の第一・第二議員会館と、参議院議員会館を回り、請願署名の紹介議員になっていただきたいたいと要請したところ、阿部知子・早稲



図 1 志位和夫衆議院議員の国会報告



図 2 志位和夫衆議院議員への署名提出

田ゆき両衆議院議員が承諾しました。

読書会（4月5日、『日本の科学者』2025年4月号）の報告

後藤仁敏

2024年4月5日の午後14時から16時に、『日本の科学者』2025年4月号をテキストとして、編集委員会主催の読書会が開催され、17名の執筆者、会員17名が参加しました。支部会員にも宣伝したところ、中島常安さんが参加され、うれしく思いました。読書会は、本号の担当編集委員である鄭幸子副編集委員長の司会で進められました。

はじめに、本号の執筆者である金承孝さん（在日朝鮮人のという存在）、ウィックス由有夏さん（在日コリアン女性の子どもの学校選択）、李定恩さん（フィリピン人英語講師）、平野邦輔さん（中高年ゲイ男性の調査）、光山キムさん（シナリオ「華子の一步」）がそれぞれの執筆部分を中心に本号の感想・意見を述べました。つづいて、編集作業に関わった方々から本号への思いが語られました。私は、校正の取りまとめを担当した経験から、「まったくの専門外の分野であったが、学ぶことが多かったこと。折からのトランプ大統領による DEI 攻撃のもとで、実にタイムリーな企画になったこと。これまでの本誌の特集とはかなり異なる構成になっており、とくに14頁も及ぶシナリオという概念の原稿を掲載したことは画期的なことであった。読書会に参加したのは、原稿を書かれた方々がどんな人なのかを知ること、その原稿の意味をまた改めて深めることができるのではないかという期待があったから。本号が世界の多くの人々に読まれることを期待したい」などと述べました。

その後、様々な意見交換がありました。「在日コリアン」という言葉だけでも、様々な表現があり、それぞれに思いがあることも知りました。終わりのころになってゴロウィナ・クセーニヤさん（結婚移住女性の生きづらさ）が参加され、お話を聞くことができました。

終了後の感想として、人間の多様性について私の専門の立場から発言すればよかったと思いました。トランプ大統領は「アメリカでは女性と男性しか認めない」と言いましたが、ヒトには生物学的に女性とも男性とも言えない多様性が見られることです。性を決める染色体だけでも、XXとXY以外にXXY、X、XXXなどがあり、外生殖器の形態にも性ホルモンの働きの過不足によって、典型的な男性と典型的な女性の様々な段階の中間的な形態が見られること、性染色体がXYであって精巣をもっている男性ホルモンの受容体が欠如するために女性の形態になることも知られている。ましてや、脳の機能である意識についてはさまざまな多様性が知られているのだ。

もう一つは、現在、国立科学博物館で開催されている特別展「古代DNA」では、現代人と古代人のDNAの比較により、日本人の多様な起源が明らかにされていることだ。これまで、骨の形質から単系統と考えられてきた縄文人のDNAは、南から来た2.7万年前石垣島の白保人が半分、他の半分はなんと北東アジア人から受け継いだものであるというのだ。縄文人は南からだけではなく、北からも来た人々が沖縄から北海道までの日本列島で混血した多系統の人々だったのだ。それが大陸から孤立した日本列島で何万年暮らすなかで、形質的にはよく似た縄文人になったのだ。

また、2900年前から始まった弥生時代になると大陸から渡来系の人々が流入してきたことが知られていたが、大陸からの流入は古墳時代以降も引き続き起こったことが明らかにされている。これらの人々は旧来の縄文人と様々な程度に混血し、古墳時代人となり、日本の本土人になってきたのだ。

こうしてみると、日本列島に住む人々は旧石器以来、ユーラシア大陸の様々な地域から来た人々がこの地で出会い、様々な程度に混血してきた人々から構成されていると言えるのである。今、日本には世界中からさまざまな人々が流入してきており、未来の人々はさらに多様な由来をもつようになることが予想されるのではないだろうか。

=====

行事案内

- ☆4月17日(木) 18:30～ **琉球弧を再び戦場にさせない！ 宮古島はいま** 4.17 横浜集会 会場：横浜市技能文化会館 2階多目的ホール（地下鉄伊勢佐木長者町駅徒歩3分） 資料代 800円（学生無料） 講師：下地茜さん（宮古島市議会議員） 主催：島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会 協賛：神奈川平和運動センター、原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議 問合せ：090-4822-4798（深沢）
- ☆4月18日(金) 18:30～ **マイナンバー違憲訴訟 最高裁における展望！ マイナンバー制度はどこへ向かうのか？** 会場：かながわ県民センター304会議室（横浜駅西口徒歩5分） お話：小賀坂徹さん（神奈川弁護士） 主催：マイナンバー違憲訴訟神奈川弁護士・原告団 <https://nomynumber-kanagawa.blogspot.com/> 連絡先：080-5052-0270
- ☆4月19日(土) 9:30～12:00 **かながわ市民連絡会全体会** 形式：Zoom会議 担当：司会：16区、書記：13区 議題：各区の報告、意見交換など 問合せ：080-3402-3360（内藤繁）
- ☆4月19日(土) 12:00～18:00 **障神奈連 25周年記念絵画展「障害児者の豊かな可能性～書画俳句作家・吉田照男の世界」** 会場：県民センター1階展示場（JR横浜駅西口徒歩5分） 入場無料 主催：障害児者の生活と権利を守る神奈川県連絡協議会 問合せ：080-5693-8449（障神奈連事務局）
- ☆4月19日(土) 12:10～12:50 **第25回黒岩県知事の人権侵害を無かったことにできない女性たちの会スタンディング** 場所：神奈川県庁本庁舎正面玄関前 呼びかけ：黒岩県知事の人権侵害を無かったことにできない女性たちの会 連絡先：小島(080-1148-7334、kjinw2023(at)gmail.com
- ☆4月19日(土) 14:00～ **憲法いかせ！戦争できる国づくり反対！選択的夫婦別姓の実現を TheEND 自民党政治 4・19 国会議員会館前行動** 場所：衆議院第2議員会館前を中心に（国会図書館方面も御利用下さい） 共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲NO！全国市民アクション
- ☆4月19日(土) 16:00～17:00 **「未来は変えられる！戦争ではなく平和なくらし！2025 憲法大集会」4.19 街頭宣伝** 場所：新宿駅東南口 主催：平和といのちと人権を！5・3 憲法集会実行委員会
- ☆4月20日(日) 13:30～16:30 **被ばく80年「SILENT FALLOUT」上映集会** 会場：建設プラザかながわ2階ホール（東神奈川駅徒歩5分） 参加費無料 映画上映、被爆者あいさつ、伊藤英朗監督あいさつなど 主催：神奈川労連 問合せ：045-212-5855
- ☆4月20日(日) 13:30～16:45 **市民が創る横浜市政のつどい** 会場：横浜市健康福祉センター4階ホール（参加予定250人、桜木町駅徒歩3分） 参加資料代 500円 講演：榊原秀訓（南山大学教授）「地方自治の未来と市民の役割」古谷靖彦（共産党市議団長）「横浜市政と市議団の役割」 菅野隆雄（市民の市長をつくる会事務局長）「市民の市長をつくる会の市長選政策（案）報告と活動提起」 各運動団体からの発言・交流 特別発言：政村 修（市民のための市政を進める会事務局長） 主催：市民の市長をつくる会 問合せ：電話・FAX 045-650-1896
- ☆4月20日(日) 14:00～ **あつぎ・九条の会19周年「音楽と講演の集い」平和のバトンを若い世代へ「アート・ことば・そして日本が誇るべき平和力」志田陽子さん講演会** 講師：志田陽子さん（武蔵野美術大学教授、憲法学） オカリナとピアノの調べ（オカリナ：竹林康子、ピアノ：田巻真理） 会場：厚木市文化会館小ホール（本厚木駅南口徒歩13分） 参加費：一般 500円、学生 300円、高校生以下無料、当日券 700円 チケット取り扱い：厚木市文化会館チケット予約センター（046-224-9999） 主催：あつぎ・九条の会 協賛：厚木市九条の会ネットワーク 問合せ：080-5034-3777（北川）、090-3912-6797（大友）
- ☆4月21日(月) 18:00～ **憲法9条改憲NO！ウィメンズアクション** 場所：JR有楽町駅イトシア前 主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会 性差別撤廃 Project Team
- ☆4月22日(火祝) 14:00～16:30 **第17回昭和100年らしいですか いま、なぜ？「昭和の日」講演会** お話：原武史さん（明治学院大学名誉教授）「象徴天皇の実像『昭和天皇拝謁記』を読む」 会場：L プラザ（かながわ労働プラザ）第3会議室（石川町駅北口徒歩5分） 資料代 500円（大学生以下無料） 主催：教科書・市民フォーラム 臨時連絡先：090-6021-0429
- ☆4月23日(水) 13:30～ **第61回中国映画を観る会「春江瑞暖」（ゲー・シャオカン監督）** 会場：戸塚区役所3階多目的スペース（大）（戸塚駅西口徒歩1分） 資料代一般 500円 主催：日中友好協会横浜西南支部 問合せ：080-2981-3935（大幡）
- ☆4月24日(木) 15:00～18:00 **『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会** 会場：かながわ県民センター705号室、市民自治に関心のある方は是非お越し下さい。 問合せ：Eメール kura335200@star.ocn.ne.jp 参加費 300円
- ☆4月25日(金) 12:30～15:00 **懐かしの昭和歌謡を歌いましょう** 会場：クラジャ（カフェ）（小田急線藤沢本町駅徒歩7分） 会費：1500円（ランチ・ドリンク付） 定員 25人 主催：年金者組合藤沢本部 問合せ：070-1315-3501（新井さん）
- ☆4月25日(金) 14:00～ **川崎市上下水道局出前講座** 会場：多摩市民館4階第1会議室（小田急線向ヶ丘遊園駅徒歩5分） ①市の上下水道料金の仕組み ②災害時の水確保は大丈夫か 主催：かわさき安全でおいしい水道水を守る会 問合せ：090-7944-5636（町井さん）
- ☆4月26日(土) 13:30～16:00 **大学人と日本共産党とのつどい シンポジウム 大学・学術の危機打開の展望を語るー自民党政治の転換点のもとで** 会場：日本共産党本部多目的ホール（JR代々木駅徒歩5分）&オンライン(YouTube)

パネリスト 本田由紀（東京大学大学院教育学研究科教授）／光本 滋（北海道大学大学院教育学研究科教授）／丹羽徹（龍谷大学法学部教授、全国学研会世話人、コーディネーター）／山添 拓（日本共産党政策委員長・参議院議員）
オンライン（YouTube）参加の方は申込み不要 会場参加希望者は、名前、住所、メールアドレス、所属を記入し、全国学者・研究者後援会事務局宛て、メールまたはFAXでご送付ください。【MAIL】gakkenkai@jcp.jp 【FAX】03-5474-8397

- ☆4月26日（土）13:30～15:30 **最終回 日本の課題 CEDAW（女性差別撤廃条約）総括所見を読む会** 会場：横浜平和と労働会館3階会議室（JR桜木町駅徒歩5分） オンライン無料 資料代500円 主催：女性差別撤廃条約実現アクション神奈川 申込み：opcedawkanagawa(at)gmail.com
- ☆4月26日（土）13:30～16:30 **4.26 神奈川革新懇春の活動交流会** 会場：藤沢市民会館第二展示ホール（JR藤沢駅南口徒歩12分） 参加費：500円 全体集会：情勢報告（藤原正明日本共産党県委員長）、活動報告（大森猛代表世話人）、冊子編集報告（斉田道夫事務局長）、各革新懇の活動報告 6つの分散会 主催：神奈川革新懇（080-5931-8179）
- ☆4月26日（土）14:00～16:00 **JCJ（日本ジャーナリスト会議）神奈川支部4月例会：問題あり！開発企業優先で進む旧横浜市庁舎の跡地利用** 会場：かながわ県民センター304会議室（横浜駅西口徒歩5分、ヨドバシカメラ裏） 講師：高田尚暢さん（横浜市民の財産を守る会代表） 現地参加費500（資料代） どなたでも参加できます。zoomによるオンラインでも参加できます。オンラインは申込みが必要です。申込み先：保坂（080-8024-2417、fdhosaca(at)theia.ocn.ne.jp） 主催：日本ジャーナリスト会議（JCJ）神奈川支部
- ☆4月26日（土）14:00～16:00 **石母田さんを偲ぶ会～老いも若きも熱き思いを！** 会場：かながわ労働プラザ3階ホール（JR石川町駅北口徒歩5分） 会費：4000円（軽食、飲み物、資料代など） 申込先：090-9317-4800（柴田）、motasinobu(at)gmail.com 主催：実行委員会（委員長：畑野君枝、事務局長：柴田豊勝）
- ☆4月26日（土）17:00～ **能動的サイバー防御法案についての学習講演会** 会場：かながわ県民センター301（横浜駅西口徒歩5分） 講師：海渡双葉弁護士（横浜合同法律事務所） 主催：戦争させない横浜市民ネットワーク 問合せ先：090-8818-1431（高梨）
- ☆4月27日（日）13:00～17:00 **NPO かながわ総研連続セミナー「マルクス主義とは何であったのか？」第1回：本講座の問題提起・論点の整理** 対面＋オンライン 対面は先着70名 講師：渡辺憲正（関東学院大名誉教授） 会場：横浜産業貿易センターB102会議室（みなとみらい線日本大通り駅徒歩3分） 主催：NPO法人かながわ総合政策研究センター 参加費全6回で15000円（テキスト、原典資料集など）、学生・大学院生は無料（テキスト代・資料代は2000円） 申込先：npo-soken(at)blue.ocn.ne.jp、045-662-9839
- ☆4月28日（月）14:00～16:00 **女性九条の会学習会** 講師：宮子あずささん テーマ：『尊厳をもって歳を重ねるために～福祉後退社会のなかで～』 会場：練馬区ココネリ3階ホール 参加費：1000円、学生・障がいのある方は500円 申込み：メールか電話（03-5981-8441）FAX（03-5981-8474）で申し込みください。主催：女性九条の会
- ☆4月28日（月）18:00～ **神奈川安保連続講座第1回** 会場：ぴおシティ6階（桜木町駅徒歩3分） 資料代500円 講師：山田敬男（労働者教育協会会長） 主催：実行委員会 連絡先：045-231-0103（神奈川県平和委員会）
- ☆4月28日（月）18:30～ **2025 憲法を考える 5.3 県民集会** 講演：木村草太さん（東京都立大学教授）「憲法の源流」 会場：かながわ県民センター2階ホール（横浜駅西口徒歩5分） 資料代500円 申込不要 主催：かながわ憲法フォーラム 共催：神奈川平和運動センター（神奈川県高等学校教職員組合内） 連絡先：kanagawa.kenpo.forum(at)gmail.com
- ☆4月29日（火）14:00～16:30 **宮前九条の会（川崎市宮前区）第97回学習会「ドキュメンタリー映画「レッド・パーズ」～今に続く負の遺産～上映会** 会場：宮前市民館第4会議室（川崎市宮前区宮前平2-20-4、東急田園都市線宮前平駅下車徒歩10分） 資料代500円 主催：宮前九条の会（<https://miyamae9.web.fc2.com/>） 連絡先：044-855-8896（若原）
- ☆4月29日（火・祝）14:00～ **気候危機問題と人権** 会場：厚木市文化会館4階集会室AB（小田急線本厚木駅徒歩13分） 参加費無料 講師：山本大貴（record1.5代表） 15時10分から16時までは厚木革新懇総会 主催：厚木革新懇 連絡先：080-1172-1094（山本さん）
- ☆5月1日（木）10:00～ **第96回県横浜メーデー** 会場：沢渡中央公園（横浜駅徒歩14分） 11:15～ デモ出発 主催：実行委員会 問合せ：045-212-5855（神奈川労連）
- ☆5月2日（金）～6日（火）10:00～18:00（最終日は15時まで） **日本軍の毒ガス展** 会場：かながわ県民センター1階展示場（横浜駅西口徒歩5分） 入場料無料。カンパをお願いします。主催：毒ガス展横浜実行委員会（080-4407-9554） 共催：記憶の継承を進める神奈川の会
- ☆5月3日（土祝）13:00～ **5.3 県民のつどい「憲法改悪を許さない！軍備増強・大増税をやめさせよう」** 会場：港南公会堂ホール（地下鉄港南中央駅徒歩1分） 講師：高橋宗瑠（大阪女学院大学教授、国連人権高等弁務官事務所パレスチナ元副代表）「パレスチナ問題に及び腰の日本～戦後80年、日米関係から世界をみる」（仮題） サブ講演：「刑事手続きと再審の過去・現在・未来（仮題）」自由法曹団より弁護士を予定 参加費600円、学生・20歳未満無料 終了後、上大岡駅までデモ行進 主催：憲法改悪阻止神奈川県連絡会議（神奈川憲法会議） 問合せ：045-651-2431（横浜合同法律事務所内）
- ☆5月3日（土祝）11:00～ **未来は変えられる！戦争ではなく平和な暮らし！2025 憲法大集会** 場所：東京有明臨海防災公園（ゆりかもめ有明駅、りんかい線国際展示場駅下車すぐ） プログラム：11:00 ミニステージ、A「自由に話そうトークイベント」、B「シスターフッド・イズ・パワフル！シスターフッドで社会を変える!」、C「こども憲法ひろば」、D「Human Music ライブ」 12:30 オープニング 小笠原もずくさん・公園でChillさん 13:00 メインステージ 主催者あいさつスピーチ：植野妙実子さん、田中熙巳さん、古賀茂明さん、国会議員あいさつ、市民連合 連帯あいさつ、リレートーク、エンディング、行動提起、クロージング 「HEIWA の鐘」合唱 14:30 パレード開始

- 16:30 パレード終了 主催：平和といのちと人権を！5・3 憲法集会実行委員会 共催：戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会、9 条改憲 NO! 全国市民アクション(info(at)kaikenno.com)、戦争させない 1000 人委員会(03-3526-2920)、憲法 9 条を壊すな！実行委員会(03-3221-4668)、戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかにす共同センター(03-5842-5611)、九条の会(03-3221-5075)
- ☆5 月 3 日(土祝) 13:30~17:00 **5.3 憲法記念日さがみはら大集会一次世代に伝えよう 輝く憲法の力を** 会場：第 1 部 ユニコムプラザさがみはら セミナールーム(相模大野) 第 2 部 小田急線相模大野駅 北口ペDESTリアンデッキ 第 1 部 講演会 13:30~15:40 講演：「憲法が生かされれば こんなに変わるー憲法を平和・人権・くらしを守る力に！」講師：渡辺 治さん(一橋大学名誉教授・九条の会事務局) 資料代 500 円(当日 600 円) 第 2 部 駅頭大宣伝(署名・宣伝) 16:00~17:00 署名・宣伝を中心に、リレートーク・歌・コールなど 主催：「戦争いやだ、9 条まもれ！」相模原連絡会 連絡先：090-7724-8172(菅沼)、090-6194-2603(鈴木)
- ☆5 月 4 日(日) 14:00~18:00 **黒井秋夫(PTSD と日本兵家族の会・寄り添う市民の会)「PTSD と日本兵家族の会・寄り添う市民の会がめざすこと」** 会場：かながわ県民センター2 階ホール(横浜駅西口徒歩 5 分) 資料代 500 円 主催：毒ガス展横浜実行委員会(080-4407-9554) 共催：記憶の継承を進める神奈川の会
- ☆5 月 6 日(火)~5 月 10 日(土) 9:30~17:30(講演会は 6 日 14:00~16:00) **九条美術展・美術講演会** 会場：東京都美術館・講堂 講演：戦後日本の平和・労働運動と美術家たち 講師：武居利史氏(美術評論家) 講演会は 500 円。美術展は入場無料 主催：九条美術の会 問い合わせ：047-449-8139(藤平)
- ☆5 月 7 日(水)~19 日(月) **2025 年神奈川県平和大行進 日本も核兵器禁止条約に参加しよう** 7 日：東京都との引継ぎ、7~9 日：川崎市、9 日：三浦市、10 日：相模原市・座間市・横浜市港北区・都筑区・青葉区・緑区、11 日：鶴見区・瀬谷区・旭区・磯子区・横須賀市・鎌倉市・海老名市・綾瀬市、12 日：神奈川区・保土ヶ谷区・南区・西区、13 日：泉区→戸塚区→栄区・港南区、14 日：清川村、15 日：大船観音・逗子市→葉山町、16 日：藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町・中井町→大井町→山北町、17 日：金沢区・平塚市→大磯町→二宮町・厚木市・伊勢原市・松田町→開成町→南足柄市、18 日：大和市・秦野市・愛川町・小田原市→箱根町、19 日：真鶴町→湯河原町・静岡県との引継ぎ 問合せ：2025 年国民平和大行進神奈川県実行委員会(045-231-6284、県原水協内)
- ☆5 月 9 日(金) 12:30~13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所：JR 東神奈川駅東口デッキ 呼びかけ：横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会(045-231-0103)
- ☆5 月 11 日(日) 14:30~17:00(映画は 110 分) **女性区長を当選させた杉並区長選のドキュメンタリー映画「映画 〇月〇日、区長になる女」上映会** 会場：大和市シリウス 601 号室(相鉄線&小田急線の大和駅東口徒歩 3 分) 178 票差の岸本聡子新市長の当選は市民の力です。そのドキュメンタリーは本当におもしろいです。映画は選挙事務所の改装から始まります。99 名限定！前売 1000 円、当日 1200 円 電話予約：5 月 1 日から久保博夫(090-2669-4219)
- ☆5 月 12 日(月) 18:30~ **選択的夫婦別姓とジェンダー平等、日本国憲法は男尊女卑？** 会場：鶴見公会堂 1 号室・2 号室(鶴見西口直結) 講師：太田伊早子(弁護士) 資料代 300 円 主催：鶴見平和フェスティバル実行委員会 申込先：鶴見区革新懇事務局・金谷(Fax. 045-573-8065、kanakazuo@yahoo.co.jp)
- ☆5 月 17 日(土) 14:00~16:30 **ノーベル平和賞受賞記念 安田和也さん講演会 広島・長崎 80 年、戦後核被害をたどる~第五福竜丸は核なき世界へと航海中です** 会場：磯子区民文化センター杉田劇場ホール(JR 新杉田駅徒歩 3 分、京急線杉田駅徒歩 5 分) チケット代：一般 1000 円、学生・高校生以下無料 講師：安田和也さん(都立第五福竜丸展示館学芸員) ノーベル平和賞受賞報告：和田征子さん(日本原水爆被害者団体協議会事務局次長) コーラス「ひこう船」の合唱 主催：根岸線沿線九条の会連絡会 問合せ：090-7175-1911、goto(at)kd5.so-net.ne.jp
- ☆5 月 17 日(土) 14:00~16:30 **シンポジウム：東アジアでの平和の準備を in 福岡** 会場：福岡国際会議場 2 階多目的ホール(地下鉄呉服町駅徒歩 12 分) YouTube 同時配信予定 入場無料 コーディネーター：瀬戸厚さん、猿田佐世さん、仲山忠克さん、志位和夫さん 共催：全国革新懇、福岡革新懇 問合せ：03-6447-4334、zenkoku(at)kakushinkon.org
- ☆5 月 18 日(日) 13:00~16:00 **シンポジウム：いっしょに考えようー福島で原発事故から 14 年** 会場：福島県二本松安達文化ホール(JR 東北本線安達駅徒歩 10 分) 資料代 1000 円(大学生以下無料) シンポジスト：伊東達也さん(原発問題住民運動全国連絡センター代表委員、コーディネーター兼)、今野秀則さん(浪江町津島訴訟原告団長)、千葉悦子さん(福島大学名誉教授)、岩淵友さん(日本共産党参議院議員) 5 月 17 日に被災地バスツアーアリ 主催：福島県革新懇(090-3645-6146、藤倉)、ふくしま復興共同センター(024-52203097、福島県労連内)、全国革新懇(03-6447-4334、zenkoku(at)kakushinkon.org)
- ☆5 月 21 日(水) 11:00~ **防衛大学校いじめと人権侵害の裁判** 11:00~12:30 事前宣伝行動 場所：新橋駅前(SL 広場) 15:00~ 裁判 会場：東京高裁 101 号法廷 公判後、報告会 会場：衆議院第一議員会館第 5 会議室 連絡先：防衛大学校いじめと人権侵害の裁判を支援する会(090-9317-4800)
- ☆5 月 24 日(土) 10:30~16:30 **全国革新懇第 44 回総会** 会場：全労連会館 2 階ホール(御茶ノ水駅徒歩 8 分) 参加希望者は 5 月 14 日までに連絡ください。主催：平和・民主・革新の日本をめざす全国の会(全国革新懇) 問合せ：03-6447-4334、zenkoku(at)kakushinkon.org
- ☆5 月 24 日(土) 10:00~17:00 **日本科学者会議第 56 回定期大会** zoom によるオンライン開催 問合せ：mail(at)jsa.gr.jp
- ☆5 月 24 日(土) 12:00~19:00 **第 69 回酒祭・天狗講・平和祈願** 会場：大山阿夫利神社旅館上神崎 参加費 8000 円(豪華弁当、飲み物、酒飲み放題付) 集合場所：12 時に阿夫利神社下社大天狗の碑前 記念講演：井上啓(弁護士)「戦後 80 年に考える戦争責任~「原爆裁判」「横浜 BC 級戦犯裁判」を今日にどう生かすか」奉納芸能：岡大介(カンカラ三線演歌師)「オッペケペーな政治家にマックロケな世の中にあわからないと笑い飛ばす！トランペット：松平晃、うたごえ：高橋由美(弁護士)ほか、日本舞踊：明日香貴桃(明日香流名取) 申込み・問合せ：下町人間

の会 (03-3876-3355)、文化集団天狗講事務局 (045-662-2226)

☆5月25日(日) **若者憲法集会** 午前 関連企画: 高校生企画 10時半~12時 (日比谷図書文化館コンベンションホール)、おにぎりと憲法~ノーラリス・ノーライフ 10時~11時半 (エデュカス東京地下会議室 AB)、学生企画「激動の世界 平和の本流を前に」10時15分~ (有楽町朝日ホール)、監視社会の実態と自己情報コントロール権 10時半~12時 (全国家電会館)、労働組合企画「ボートゲームで遊ぶ『憲法』」10時~12時 (未定、有楽町駅付近)、核兵器で平和は守れるかーいまこそ被爆者の訴えを聞こう 10時半~12時 (文京区民センター2階 2-A 会議室) 13:20~ メイン企画 講師: 小畑雅子さん(婦団連会長) 会場: 有楽町朝日ホール 15:45~ デモ行進日比谷公園口出発予定 主催: 実行委員会 (wakamonokenpou(at)gmail.com)

☆5月25日(日) 13:00~17:00 **NPO かながわ総研連続セミナー「マルクス主義とは何であったのか?」第2回: マルクス理論の形成** 対面+オンライン 対面は先着70名 講師: 渡辺憲正(関東学院大白名誉教授) 会場: 桜木町ぴおシティ6階第1会議室(地下鉄・JR 桜木町駅徒歩3分) 主催: NPO 法人かながわ総合政策研究センター 参加費 全6回で15000円(テキスト、原典資料集など)、学生・大学院生は無料(テキスト代・資料代は2000円) 申込先: npo-soken(at)blue.ocn.ne.jp、045-662-9839

☆5月25日(土) 13:30~16:00 **第15回鶴見平和フェスティバル 平和を創る集い in 鶴見 守ろう憲法! 取り戻そう世界に平和を!** 会場: 鶴見公会堂ホール(JR 鶴見駅西口直結、西友鶴見店6階) 参加費 999円、高校生以下無料 公演: 松元ヒロさん(スタンダップコメディアン) 和太鼓演奏: 笑鼓楽 歌声: 南部合唱団 呼びかけ人 後藤仁敏(鶴見大学名誉教授)、前川雄司(弁護士)、宮澤由美(汐田総合病院院長)、野末浩之(横浜勤労福祉協会理事長) 主催: 実行委員会 連絡先: よこはま健康友の会事務局 (045-947-3260)

☆5月25日(日) 14:00~16:00 **第97回草の根歯科勉強会 加害者を放置したままでいいのか?** 講師: 山口のり子氏(一般社団法人アウェア) 会場: 梨の木カフェ(10名まで、JR 水道橋駅東口徒歩5分)とzoom併用 要申込 参加費無料(希望者はコーヒー代500円) 主催: 草の根歯科研究会 問合せ: yayoiokada(at)pcsu.mfnet.ne.jp (岡田弥生)

☆5月31日(土) 15:00~17:00 **医療・福祉問題研究会第155回研究例会 児童養護施設の労働問題ー子ども・職員双方の人権保障のために** 報告者: 堀場純矢さん(日本福祉大学社会福祉学部教授) オンライン(zoom)開催 参加無料 主催: 医療・福祉問題研究会(〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学地域創造学類社会保障論研究室内、ホームページ <http://ihmk.sakura.ne.jp/>) 問合せ: ihmk1986★gmail.com(送信時は、★→@に変えてください)

☆6月8日(日) 10:00~17:00 **日本科学者会議第56回定期大会(続)** zoomによるオンライン開催 問合せ: mail(at)jsa.gr.jp

☆6月13日(金) 12:30~13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所: JR 桜木町駅前広場 呼びかけ: 横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会(045-231-0103)

☆6月28日(土) 14:00~16:45 **第9回九条の会全国交流集会(オンライン)** 目的: 憲法9条などを巡る最近の情勢の認識の交換と、各地の活動を交流し、今後の活動の糧とする。集会形式: zoomを使用してのオンライン集会 参加対象: 各地・各分野の九条の会、呼びかけ人、世話人、事務局、運営スタッフなど。主催: 九条の会事務局 問合せ: 03-3221-5075、mail@9jounokai.jp

☆6月29日(日) 13:30~15:30 **第13回千葉サイエンスカフェ** 日本科学者会議千葉支部では、科学の普及を目指す企画として、話題に興味がある子どもから大人までを対象に、一般公開で不定期ですが「サイエンスカフェ」という談話会を市民活動支援センター(千葉市文化センター9階)でこれまでに12回開催してきました。次回は6月29日(日)13:30~から大久保紀雄さんを話題提供者として開催を予定しております。皆様、ふるってご参加ください。対象: 話題に興味がある子どもから大人まで。講演テーマ: ライブニッツとスピノザー17・18世紀の哲学 講師: 大久保紀雄さん 会場: 千葉市文化センター9階(市民活動支援センター談話室、千葉中央ツインビル2号館、JR 総武線千葉駅、京成千葉線千葉中央駅徒歩10分; 千葉都市モノレール葭川公園駅駅徒歩3分) オンライン参加の場合は URL: <https://meet.jit.si/JSACHibaStaffmeeting> にご接続下さい。主催: 日本科学者会議千葉支部

JSA 神奈川支部幹事会・発送作業 次回は5月10日です。

日時: 5月10日(土) 11時~12時、発送作業は翌週の予定。

会場: かながわ総研事務所(横浜市中区不老町1-6-9 第1HBビル5階、1階に「牡丹飯店」という中華料理屋のあるビルの5階、JR 関内駅西口徒歩3分)、13時30分から支部大会をかながわ労働プラザ第5会議室で開催します。

連絡先: 飯岡ひろし(携帯: 080-1987-0994、E-mail: jsa.kanagawa(at)gmail.com)

次号の原稿の募集: 近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切り、15日ごろの発送です。

送り先: 後藤仁敏 (E-mail: goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax: 045-894-1052)